

# 【2024年度 牧野リハビリテーション病院における看護職員負担軽減及び処遇の改善に資する計画及び結果】

2024年5月28日

牧野リハビリテーション病院

## ＜看護職員の勤務状況＞ ＜目的＞

- ・120床（回復期リハビリテーション病棟60床／障害者病棟60床）
- ・2交代勤務
- ・看護師 67名 准看護師 4名

看護職員の負担軽減及び処遇の改善については、これまで鋭意努めてきたところであるが、専門性の高い看護業務、質の高い看護ケアに専念できる環境とは、自信を持って充実しているとは言いがたい現状がまだ存在する。看護職員にとって魅力ある職場環境を実現することにより、離職者を減少させ、新卒者、既卒者から「選ばれた病院」を目指す。

本計画は、『安全で誇りを持って働けた看護』を提供するために、看護職員が心身ともに健康で職務を遂行することができる環境整備を推進することを目的とする。

## ＜看護職員の負担軽減に係る目標及び達成度の評価＞

項目	現状及び方針	令和6年度 具体的計画	達成状況（達成割合も表記）				
			令和6年9月	令和7年3月			
看護部と他部署の連携による業務分担	多岐にわたる業務により看護ケア・業務に重点を置くことができない、また、看護の質の低下を感じる事がある ⇒多職種でのチーム医療の実現によって看護職員の負担軽減と安全な医療の提供を進める	医師	緊急及び緊急でなくても良い指示出し方法の継続	緊急の指示の時は際は、口頭で指示を受け、その他では、業務の中断となるような指示が少なくなっている	100%	緊急の指示の時は際は、口頭で指示を受け、その他では、業務の中断となるような指示が少なくなった	100%
		薬剤師	・看護師による薬剤管理を薬剤師へ移行の継続実施 ・CVの調剤を6/週から7/週に拡大 ・持参薬 定数薬の管理 定期処方 注射薬のセット継続及び2Fの入院時セットの検討 ・混注作業の検討 ・後発医薬品に関する情報提供 切替えの継続実施	・薬剤管理を薬剤師で継続実施に努めた ・CVの調剤を6/週実施 7/週については検討中 ・持参薬 定数薬の管理 定期処方 注射薬のセット継続実施 2Fの入院時セットを実施済み ・CV以外の混中作業の実施の検討中 ・継続して後発医薬品に関する情報提供を実施 薬剤切替えを実施	70%	・薬剤管理を薬剤師で継続実施に努めた ・CVの調剤を6/週実施 7/週については検討中 ・持参薬 定数薬の管理 定期処方 注射薬のセット継続実施 2Fの入院時セットを実施済み ・CV以外の混中作業の実施の検討中 ・継続して後発医薬品に関する情報提供を実施 薬剤切替えを実施	70%
		臨床検査技師	・医師の指示のもと採血業務の臨床検査技師へ移行の継続実施	・臨床検査技師に日中の時間帯の採血業務の実施の継続による看護師の負担軽減の実施	100%	・臨床検査技師に日中の時間帯の採血業務の実施の継続による看護師の負担軽減の実施	100%
		臨床工学士	・人工呼吸器 輸液ポンプ DC AED等の点検業務の継続実施 ・人工呼吸器の回路定期交換の継続実施	・継続して週1回医療機器の点検及び在庫管理を実施 ・人工呼吸器の回路の定期交換実施し軽減に努めた ・呼吸器患者新規入院時の呼吸器の対応実施	80%	・継続して週1回医療機器の点検及び在庫管理を実施 DCの研修会の実施 ・人工呼吸器の回路の定期交換実施し軽減に努めた ・呼吸器患者新規入院時の呼吸器の対応実施 ・臨床工学士の勤務日を週半日から週1日勤務に変更を検討を進めた	90%
		清掃委託作業員	・委託清掃業者による廃棄物の回収業務の継続実施 ・病室の療養環境整備及び病棟の消毒作業の継続実施	・病棟の希望時間に合わせた廃棄物回収の実施し、負担軽減に努めた。また病室の清掃作業継続実施 ドアノブの消毒実施し療養環境の整備に努めた	80%	・病棟の希望時間に合わせた廃棄物回収の実施し、負担軽減に努めた。また病室の清掃作業継続実施 ドアノブの消毒実施し療養環境の整備に努めた	80%
看護業務採用担当に軽減する増員	看護師の離職、医療・ケアの必要度が高い患者の増加などにより相対的な人員不足解消されず、看護業務負担増が継続発生している ⇒看護師の採用活動の強化による増員	看護師の採用の強化を行い看護師数の増員と離職防止対策を行う 1 多様な求人媒体活用による採用活動の継続 ・就職説明会への参加 ・人材紹介会社からの採用強化 ・日雇看護師媒体からの雇用による負担軽減と活用 ・ナースセンターの継続活用 ・看護部ホームページの充実、魅力の配信 2 多様な雇用形態での採用 ・時短・土日勤務者・夜勤専従・夜勤アルバイト・有期雇用等の活用 3 離職者を減らす為、入職者の教育の充実 ・支援バスの活用 定期的面談 ・有給消化率の高取得率維持	・看護師の採用の強化し多様な求人媒体から募集の実施 4年振りの病院独自の説明会を実施した ・看護師 准看護師を12名採用した（異動者含む） ・日雇看護師から直接雇用へ切替えて2名採用した ・日雇看護師雇用を4月から9月で405件勤務実施 ・継続し病院独自の入職祝い金制度を新たに取入れ採用活動に活用した ・継続しナースセンターの活用 ・時短・土日勤務者・夜勤専従・夜勤アルバイト・有期雇用等の多様な雇用形態の継続 ・休職の活用を促し離職に努めた	75%	・看護師の採用の強化し多様な求人媒体から募集の実施 牧野エリア就職説明会2回開催 ・看護師 准看護師を22名採用した（異動者含む） ・日雇看護師から直接雇用へ切替えて3名採用した ・日雇看護師雇用を4月から3月で747件勤務実施 ・継続し病院独自の入職祝い金制度を新たに取入れ採用活動に活用した ・継続しナースセンターの活用 ・時短・土日勤務者・夜勤専従・夜勤アルバイト・有期雇用等の多様な雇用形態の継続 ・休職の活用を促し離職に努めた	80%	
看護補助者からの増員による看護	看護補助者の増員による看護業務の負担軽減	看護補助者の採用の強化を行い、増員と離職防止対策を行う 1 多様な求人媒体活用による採用活動 ・人材紹介会社からの採用強化 ・日雇看護補助媒体からの雇用による負担軽減と活用 ・ハローワークでの求人募集の強化と継続 ・看護部ホームページの充実、魅力の配信 2 多様な雇用形態での採用 ・時短・土日勤務者・夜勤専従・夜勤アルバイト・有期雇用等の活用 ・直接介助のない補助者の人員の維持 3 離職者を減らす為、入職者の教育の充実 ・支援バスの活用 定期的面談 ・有給消化率の高取得率維持	・看護補助者の採用を強化し多様な求人媒体で採用活動を実施した ・看護補助者を新たに2名採用した ・継続して病院独自の入職祝い金制度を取入れ採用活動に活用した ・ホームページのリニューアルを行い募集を行った ・多様な雇用形態での採用・時短・土日勤務者・夜勤専従・夜勤アルバイト・有期雇用等 給与水準の向上に努めた ・定期的面談を実施し離職者軽減に努めた	75%	・看護補助者の採用を強化し多様な求人媒体で採用活動を実施した ・看護補助者を新たに4名採用した ・継続して病院独自の入職祝い金制度を取入れ採用活動に活用した ・ホームページのリニューアルを行い募集を行った ・多様な雇用形態での採用・時短・土日勤務者・夜勤専従・夜勤アルバイト・有期雇用等 給与水準の向上に努めた ・定期的面談を実施し離職者軽減に努めた	80%	
常勤職員の時給制導入	ワークライフバランスの不一致で業務に就きにくい	看護補助者の採用の強化を行い、増員と離職防止対策を行う 1 多様な求人媒体活用による採用活動 ・就職説明会への参加 ・人材紹介会社からの採用強化 ・日雇看護師媒体からの雇用と活用（ミスマッチの割く少ない採用） ・ハローワークでの求人募集の強化と継続 ・ホームページの再構築 2 多様な雇用形態での採用 ・時短・土日勤務者・夜勤専従・夜勤アルバイト・有期雇用等 ・直接介助のない補助者の導入 3 離職者を減らす為、入職者の教育の充実 ・支援バスの活用 定期的面談 ・有給消化率の高維持	・残業削減と職場内のコミュニケーションの向上を目指しノー残業デーの実施した ・短時常勤制度 多様な勤務時間帯 夜勤の免除制度を継続しワークライフバランスの向上に努めた	90%	・残業削減と職場内のコミュニケーションの向上を目指しノー残業デーの実施した ・短時常勤制度 多様な勤務時間帯 夜勤の免除制度を継続しワークライフバランスの向上に努めた ・ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の実現に向けた施策として、2024年度に特別休暇が5日間付与された		
働く妊婦に配慮した子育て	仕事と子育てのバランスの不一致で業務に就きにくい 負担の少ない部署への異動又は働きやすい部署への異動	・子育て看護職員への短時間常勤制度の活用案内 ・育児明けに安心して働くことが出来るよう0歳児から就学前までの幼児と学童を対象とした保育室の設置の維持 対象者への活用の推進 ・夜勤勤務にも対応した保育室の運営の維持 ・個々に適した部署への配置の検討	・子育て看護職員への短時間常勤制度の活用案内の継続した ・継続して0歳児から就学前までの幼児と学童を対象とした保育室を継続し、活用の推進に努めた ・夜勤勤務にも対応した保育室の運営の継続に努めた ・個々に適した部署への配置の検討を行った	90%	・子育て看護職員への短時間常勤制度の活用案内の継続した ・継続して0歳児から就学前までの幼児と学童を対象とした保育室を継続し、活用の推進に努めた ・夜勤勤務にも対応した保育室の運営の継続に努めた ・個々に適した部署への配置の検討を行った	90%	
ポイント制	心身の不調による離職者の発生を軽減に努める	・カウンセラー面談の活用による職場や私生活での悩みの解消を促進毎月実施 ・ストレスチェックの実施率のさらなる向上へによる個々の心身の状況を把握しに努める ・本人による分析結果の確認及び把握の徹底 カウンセラーへの相談の推奨、啓蒙 ・ストレスチェック結果が高ストレス者への産業医への面談の活用を強く推奨する	・職場や私生活での悩みの解消を目指し、カウンセラー面談の活用を推奨した ・ストレスチェックの実施し多くの職員が回答するよう推進した	80%	・職場や私生活での悩みの解消を目指し、カウンセラー面談の活用を推奨した ・ストレスチェックの実施し多くの職員が回答するよう推進した ・2025年度新入職員オリエンテーションにセルフマネジメント研修を取り入れるよう調整を行った	85%	

# 【2025年度 牧野リハビリテーション病院における看護職員負担軽減及び処遇の改善に資する計画】

2025年5月1日  
牧野リハビリテーション病院

## ＜看護職員の勤務状況＞ ＜目的＞

- ・120床（回復期リハビリテーション病棟60床・障害者病棟60床）
- ・2交代勤務
- ・看護師 70名 准看護師 3名

看護職員の負担軽減及び処遇の改善については、これまで鋭意努めてきたところであるが、専門性の高い看護業務・質の高い看護ケアに専念できる環境とは、自信を持って充実しているとは言いがたい現状がまだ存在する。看護職員にとって魅力ある職場環境を実現することにより、離職者を減少させ、新卒者、既卒者から「選ばれる病院」を目指す。

本計画は、『安全で誇りの持てる固たたかな看護』を提供するために、看護職員が心身ともに健康で職務を遂行することができる環境整備を推進することを目的とする。

## ＜看護職員の負担軽減に係る目標及び達成度の評価＞

項目	現状及び方針	令和7年度 具体的計画	達成状況(達成割合も表記)			
			令和7年9月30日時点	達成率	令和8年3月31日時点	達成率
看護部と他部署の連携による業務分担	多岐にわたる業務により看護ケア・業務に重点を置くことができない、また、看護の質の低下を感じる事がある →多職種でのチーム医療の実現によって看護職員の負担軽減と安全な医療の提供を進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急及び緊急でなくとも良い指示出し方法の継続</li> </ul> </li> <li>薬剤師                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師による薬剤管理を薬剤師へ移行の継続実施</li> <li>・CVの調剤を6/週から7/週に拡大</li> <li>・持参薬 定数薬の管理 定期処方 注射薬のセット継続及び2Fの入院時々の検討</li> <li>・混注作業の検討</li> <li>・後発医薬品に関する情報提供 切替えの継続実施</li> </ul> </li> <li>臨床検査技師                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の指示のもと採血業務の臨床検査技師へ移行の継続実施</li> </ul> </li> <li>臨床工学技士                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床工学技士の勤務日を週平日から週2日勤務に変更し負担軽減に努める</li> <li>・人工呼吸器 輸液ポンプ DC AED等の点検業務の継続実施</li> <li>・人工呼吸器の回路定期交換の継続実施</li> </ul> </li> <li>清掃委託作業員                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託清掃業者による廃棄物の回収業務の継続実施</li> <li>・病室の療養環境整備及び病棟の消毒作業の継続実施</li> </ul> </li> </ul>				
看護師採用による負担軽減増員業務	看護師の離職、医療・ケアの必要度が高い患者の増加などにより相対的な人員不足解消されず、看護業務負担増が継続発生している →看護師の採用活動の強化による増員	看護師の採用の強化を行い看護師数の増員と離職防止対策を行う 1 多様な求人媒体活用による採用活動の継続 ・就職説明会への参加 ・人材紹介会社からの採用強化 ・日雇看護師媒体からの雇用による負担軽減と活用 ・ナースセンターの継続活用 ・看護師ホームページの充実・魅力の配信 2 多様な雇用形態での採用 ・時短・土日勤務者・夜勤専従・夜勤アルバイト・有期雇用等の活用 3 離職者を減らす為、入職者の教育の充実 ・支援バスの活用 定期的面談 ・有給消化率の高取得率維持				
看護補助者からの増員業務移行による看護	看護補助者の増員による看護業務の負担軽減	看護補助者の採用の強化を行い、増員と離職防止対策を行う 1 多様な求人媒体活用による採用活動 ・人材紹介会社からの採用強化 ・日雇看護補助媒体からの雇用による負担軽減と活用 ・ハローワークでの求人募集の強化と継続 ・看護師ホームページの充実・魅力の配信 2 多様な雇用形態での採用 ・時短・土日勤務者・夜勤専従・夜勤アルバイト・有期雇用等の活用 ・直接介助のない補助者の人員の維持 3 離職者を減らす為、入職者の教育の充実 ・支援バスの活用 定期的面談 ・有給消化率の高取得率維持				
常勤多職員の勤務形態間勤務導入	ワークライフバランスの不一致で業務に就きにくい	看護補助者の採用の強化を行い、増員と離職防止対策を行う 1 多様な求人媒体活用による採用活動 ・就職説明会への参加 ・人材紹介会社からの採用強化 ・日雇看護師媒体からの雇用と活用（ミスマッチの少く少ない採用） ・ハローワークでの求人募集の強化と継続 ・ホームページの再構築 2 多様な雇用形態での採用 ・時短・土日勤務者・夜勤専従・夜勤アルバイト・有期雇用等 ・直接介助のない補助者の導入 3 離職者を減らす為、入職者の教育の充実 ・支援バスの活用 定期的面談 ・有給消化率の高維持 ・ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の実現に向けたサポート体制				
職て妊婦にの慮対看子す看護	仕事と子育てのバランスの不一致で業務に就きにくい負担の少ない部署への異動又は働きやすい部署への異動	・子育て看護職員への短時間常勤制度の活用の案内 ・育休明けに安心して働くことが出来るよう0歳児から就学前までの幼児と学童を対象とした保育室の設置の維持 対象者への活用の推進 ・夜勤勤務にも対応した保育室の運営の維持 ・個々に適した部署への配置の検討				
ボメン構築体例制サ	心身の不調による離職者の発生を軽減に努める	・カウンセラー面談の活用による職場や私生活での悩みの解消を促進毎月実施 ・ストレスチェックの実施率のさらなる向上へによる個々の心身の状況を把握に努める ・本人による分析結果の確認及び把握の徹底 カウンセラーへの相談の推奨・啓蒙 ・ストレスチェック結果が高ストレス者への産業医への面談の活用を強く推奨する ・新入職員オリエンテーションにセルフマネジメント研修の実施				